

～ 中学年ブロックの願い ～

研究教科：国語

課 題

「何を書けばよいかわからない」考えの形成から、よりよくしようとする意識の低さ

中学年の子どもたちは、自分の考えを伝えたいという思いをもち、意欲的に相手に伝えようとするよさがある。一方で、課題に対して丁寧に取り組むことが難しく、個人差が大きい。また、自分の思いや考えを表現することに苦手意識がある。

だから

～ 中学年ブロックの主張

【単元を通して「やってみたい」が持続する授業づくり】

- 子どもたち自身が学びの見通しをもち、子どもたちの「やってみたい」を引き出せる言語活動を設定する。
- 子どもたちのできるようになったことが、振り返りによって実感でき、よりよくしようとする意欲を高める。
- 自らの思いや考えを広げたり深めたりする活動を、ICTなどを活用し、個別最適な学びや表現・協働的な学びにつなげる。

すべし

目指す子どもの姿「自ら学ぶ意欲をもち、『できた』に喜びを感じる子の育成

- 「書いてみたい!」「書けそうだ!」と、意欲的に取り組むことができる。
- 書けることに喜びを感じながら、自分で書いた文章を読み、推敲したり、考えを深めたりすることができる。
- 書き表し方の工夫など、学んだことをこれからの学習に生かそうとすることができる